

研究開発協力者の募集

「漢方医学における問診トレーニングのための Chat GPT を用いたシミュレータの開発」

研究の概要

漢方医学の教育において、漢方医学的な診察に必要な知識と技術を学習することは非常に重要です。漢方医学的な診察として望診、聞診、問診、切診の四診が行われますが、中でも問診は患者の訴えを傾聴し、漢方医学的な診断に至るための情報を収集する重要なプロセスです。しかし、医学生や研修医が漢方医学的な診察を求める患者に対して問診を行う機会は非常に乏しく、漢方医学的診療の実践的なトレーニングを行う上で障壁となっています。

そこで今回私は近年進歩の著しい人工知能技術を用いた「漢方医学的治療を求める模擬患者」の役割を担うチャットボット（自動会話プログラム）をシミュレータとして作成しました。しかし、現時点では、これが医学生のトレーニングに有用であるかについては全く検討できていません。将来、医療面接を行う医学生に開発中のシミュレータを試用してもらい、使用後のフィードバックを受けることで、シミュレータの改善点を明らかにし、性能の向上を行いたいと考えて本研究は実施します。

研究協力の対象者の条件

以下の①～④のすべての該当する方 ①年齢：21 歳以上、②性別：不問、③4 年生以上の医学生、④本研究参加にあたり十分な説明を受け、本人の自由意思により文書による同意を得た者

内 容

- ① 本研究の概要について説明を受ける
- ② 漢方医学的治療を求める模擬患者」の役割を担うチャットボットに対して、問診のトレーニングを行う（60 分程度）
- ③ アンケート調査に回答する（約 15 分）

募集人数 10 名 **募集期間** 実施許可日～2025 年 6 月 30 日

（10 名の研究対象者が確定した段階で募集を締め切らせていただきます）

お名前や個人情報が口外されたり公表されることはありません。

必要なデータや情報のみを集計し、個人情報管理には十分に配慮いたします。

なお、個人情報などの管理方法を含むこの研究の実施については、

当院の臨床研究審査委員会の審査による研究機関の長の許可を得ています。

ご協力頂いた方には、負担軽減費 10000 円分の Quo カードをご提供いたします。

研究にご協力いただける方は、メールで以下のアドレスにご連絡ください。

★連絡を頂く際には、①お名前、②連絡先(メールアドレス)、③所属を記入下さい。

★研究者から研究概要の説明とインタビューの日程調整のためにお返事させていただきます。

＜問い合わせ先＞

研究責任者： 東海大学医学部専門診療学系漢方医学 准教授 野上 達也

メールアドレス：nogami.tatsuya.0614@tokai.ac.jp